



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 榮一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部財務部長 (氏名) 白田 浩二

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,615	8.5	570	11.6	726	36.9	522	81.1
2023年3月期第2四半期	5,177	15.9	511	163.0	530	148.0	288	195.8

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 927百万円 (298.7%) 2023年3月期第2四半期 232百万円 (46.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	39.53	39.51
2023年3月期第2四半期	21.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	42,570	18,862	39.1
2023年3月期	41,847	18,177	38.1

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 16,635百万円 2023年3月期 15,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2024年3月期	—	8.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,689	5.0	1,127	3.2	1,299	9.4	916	24.9	69.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	13,600,000 株	2023年3月期	13,600,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	384,042 株	2023年3月期	384,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	13,215,958 株	2023年3月期2Q	13,213,106 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類への移行もあり、経済活動は正常化に進み日経平均株価は一時、バブル崩壊後の高値更新をしましたが、原材料価格等の高騰や円安を背景とした物価上昇、米中等主要国の見通しづらな経済状況もあり、国内景気動向は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では、海外からの製品等仕入れにおいて、円安、原材料高の影響を受け、また、国内ではキャンプ関連商品の需要が減少傾向を見せるなど懸念材料はありますが、一方でプリント加工の新規事業が順調に推移するなど、取扱品により差が出た事業活動となりました。

不動産活用事業は、賃貸物件である大型商業施設「イオンモール川口前川」、「イオンモール川口」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,615百万円（前年同期比8.5%増）となりました。営業利益は570百万円（前年同期比11.6%増）となり、経常利益は726百万円（前年同期比36.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は522百万円（前年同期比81.1%増）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。

① 繊維事業

マテリアル部は、原糸や生地販売において価格転嫁や仕入先の見直しを進めたことに加え、三国間貿易による落ち綿販売を開始したことから、増収増益となりました。

アパレル部は、猛暑の影響により熱中症対策を施したワーキングウェアの直需の受注が増加したことから、増収増益となりました。

アウトドア部は、コロナ禍において急伸していたキャンプ関連需要が減少し、減収減益となりました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、附属レースの国内需要が落ち込み減収となりましたが、販管費が減少したことから損失が縮小しました。

プリント加工品の製造・販売を行うサイボークリエイティブ㈱は、前第3四半期連結会計期間より事業を開始しておりますが、様々な分野より受注を得たことにより順調に推移し、業績に貢献しております。

また、前連結会計年度まで非連結子会社であった糸糊付加工を営む日宇産業㈱は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

この結果、繊維事業の売上高は3,264百万円（前年同期比20.7%増）となり、営業利益は101百万円（前年同期比150.3%増）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるという、お客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されております。また「イオンモール川口」は、多様化するニーズに応え、多様なコンテンツを備えて近隣住民の新たな生活の一部として受け入れられており、両施設ともに売上及び収益の安定化に寄与しております。なお、前期においては商業施設のリニューアル工事に係る費用を計上したこともあり、営業利益は向上しております。

この結果、不動産活用事業の売上高は1,857百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は447百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、イベントの開催や新しい設備の導入、女性レッスンプログの活用等を図ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の分類の引き下げ等により、三密を避けられるスポーツとしての優位性が低下し、また酷暑及び強風等の影響もあり来場者が減少したことやボールの入替費用を計上したことから、減収減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は459百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は3百万円（前年同期比92.0%減）となりました。

④ その他の事業

神根サイボー㈱のインテリア施工事業は、大口物件が減少したことに加え、資材及び外注費の高騰により費用が膨らみ減収減益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は456百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益は30百万円（前年同期比38.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ722百万円増加して42,570百万円となりました。これは主に有形固定資産の減価償却が進んだこと等による減少があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産や商品及び製品並びに投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加して23,708百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金や資産除去債務並びに繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ684百万円増加して18,862百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ57百万円増加して2,728百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ587百万円減少して845百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加や未払又は未収消費税等の増減額が前第2四半期連結累計期間は還付でしたが、当第2四半期連結累計期間は納付になったこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ15百万円増加して191百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ893百万円減少して613百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日(2023年11月9日)公表の「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,806,151	2,865,692
受取手形、売掛金及び契約資産	1,350,417	1,531,094
有価証券	188,229	156,726
商品及び製品	1,680,502	1,988,347
仕掛品	6,738	11,429
原材料及び貯蔵品	73,488	94,665
その他	175,840	135,647
貸倒引当金	△1,951	—
流動資産合計	6,279,416	6,783,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,962,371	21,482,707
土地	7,910,358	7,938,702
その他（純額）	384,024	445,460
有形固定資産合計	30,256,754	29,866,871
無形固定資産	7,201	4,723
投資その他の資産		
投資有価証券	4,944,205	5,494,499
その他	405,218	420,915
貸倒引当金	△44,829	—
投資その他の資産合計	5,304,593	5,915,415
固定資産合計	35,568,549	35,787,009
資産合計	41,847,966	42,570,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	670,429	887,761
短期借入金	300,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	1,068,940	1,074,929
未払法人税等	50,279	183,417
賞与引当金	53,176	54,881
役員賞与引当金	6,230	3,115
その他	702,885	560,916
流動負債合計	2,851,940	3,095,021
固定負債		
長期借入金	13,701,927	13,217,593
役員退職慰労引当金	265,201	207,289
退職給付に係る負債	182,145	181,644
長期預り保証金	5,584,844	5,587,389
資産除去債務	720,173	899,155
その他	363,883	520,336
固定負債合計	20,818,175	20,613,409
負債合計	23,670,115	23,708,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	825,348	825,348
利益剰余金	13,054,462	13,337,262
自己株式	△243,574	△243,574
株主資本合計	15,038,236	15,321,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,576	1,180,481
繰延ヘッジ損益	47,061	128,495
退職給付に係る調整累計額	5,007	5,610
その他の包括利益累計額合計	922,646	1,314,587
新株予約権	4,843	4,176
非支配株主持分	2,212,124	2,222,383
純資産合計	18,177,850	18,862,183
負債純資産合計	41,847,966	42,570,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,177,170	5,615,141
売上原価	4,035,325	4,310,809
売上総利益	1,141,844	1,304,332
販売費及び一般管理費	630,121	733,499
営業利益	511,723	570,832
営業外収益		
受取利息	712	544
受取配当金	57,212	53,059
持分法による投資利益	13,848	94,125
受取保険金	11,244	79,379
その他	24,666	55,836
営業外収益合計	107,683	282,945
営業外費用		
支払利息	51,987	49,128
災害による損失	550	64,895
その他	36,152	13,172
営業外費用合計	88,690	127,195
経常利益	530,716	726,582
特別利益		
新株予約権戻入益	899	888
特別利益合計	899	888
特別損失		
投資有価証券評価損	22,947	—
特別損失合計	22,947	—
税金等調整前四半期純利益	508,668	727,470
法人税、住民税及び事業税	74,590	178,233
法人税等調整額	111,439	9,075
法人税等合計	186,030	187,308
四半期純利益	322,638	540,161
非支配株主に帰属する四半期純利益	34,158	17,708
親会社株主に帰属する四半期純利益	288,479	522,453

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	322,638	540,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142,713	249,399
繰延ヘッジ損益	72,828	81,433
持分法適用会社に対する持分相当額	△20,142	56,390
その他の包括利益合計	△90,026	387,224
四半期包括利益	232,611	927,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,995	914,394
非支配株主に係る四半期包括利益	35,615	12,991

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	508,668	727,470
減価償却費	659,186	701,441
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,957	△2,035
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,873	264
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,515	△3,115
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,748	△600
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,337	△67,375
受取利息及び受取配当金	△57,924	△53,604
支払利息	51,987	49,128
持分法による投資損益 (△は益)	△13,848	△94,125
売上債権の増減額 (△は増加)	△336,883	△164,983
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△652,230	△322,844
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,945	213,041
未払又は未収消費税等の増減額	1,374,820	△149,338
その他	2,082	58,461
小計	1,552,291	891,787
利息及び配当金の受取額	58,151	53,831
利息の支払額	△51,987	△49,128
法人税等の支払額	△125,602	△50,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,432,852	845,750
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	13,355
有形固定資産の取得による支出	△194,337	△204,084
固定資産の除却による支出	△3,690	△10,074
投資有価証券の取得による支出	△29,912	△42,875
投資有価証券の売却による収入	43,662	27,828
定期預金の増減額 (△は増加)	5,099	△2,100
貸付金の回収による収入	3,900	—
その他	△814	26,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,093	△191,843
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	90,000	30,000
短期借入金の返済による支出	△940,000	—
長期借入金の返済による支出	△551,270	△508,146
配当金の支払額	△91,522	△104,629
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	1,732	—
その他	△12,586	△27,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,506,379	△613,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	9,606
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△249,619	50,367
現金及び現金同等物の期首残高	2,426,675	2,671,046
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	7,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,177,056	2,728,487

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことから日宇産業㈱を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

トヨタ東埼玉グループ㈱(旧㈱NTワークス)は、当社の持分法適用の関連会社であるネットヨタ東埼玉㈱との株式交換により、第1四半期連結会計期間から持分法適用の関連会社としております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,699,878	1,714,166	495,447	4,909,492	267,677	5,177,170	—	5,177,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	140,723	—	144,923	270,667	415,591	△415,591	—
計	2,704,078	1,854,889	495,447	5,054,415	538,345	5,592,761	△415,591	5,177,170
セグメント利益	40,530	385,988	49,930	476,449	48,898	525,347	△13,623	511,723

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	3,264,079	1,717,067	459,209	5,440,355	174,786	5,615,141	—	5,615,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	140,723	—	140,776	281,584	422,360	△422,360	—
計	3,264,132	1,857,790	459,209	5,581,131	456,370	6,037,502	△422,360	5,615,141
セグメント利益	101,438	447,602	3,988	553,029	30,019	583,048	△12,216	570,832

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。